

報道関係者 各位

令和6年11月8日
独立行政法人国立高等専門学校機構

11月21日（木）10時30分 記者発表会開催

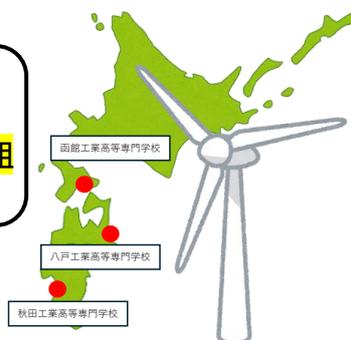
GX 推進に必要な再生可能エネルギー分野を開拓 できる高専人材育成と産学連携のカタチ

独立行政法人国立高等専門学校機構（以下、「高専機構」）は、今後人材ニーズが非常に高まることが予測される再生可能エネルギーの1つ風力分野の、とくに今後進展の期待される洋上風力分野において、GX 推進に必要な高度な人材の育成を強化します。経済産業省からの既報の通り、洋上風力発電に関わる事業者が新たに立ち上げる「洋上風力人材育成推進協議会（通称：ECOWIND）」や地域の洋上風力に関わる産官学と高専機構の連携は、強力な高度理系人材を生み出すこととなり、風力分野をけん引するものとなります。

高専においては、2024年度より新たにCOMPASS 5.0（次世代基盤技術教育のカリキュラム化）の対象分野として、洋上風力に関わるエネルギー分野を追加しました。そのカリキュラムの策定などの具体的な検討を進める拠点校として、洋上風力ポテンシャルの高い地域にある函館工業高等専門学校（以下「函館高専」）・八戸工業高等専門学校（以下「八戸高専」）・秋田工業高等専門学校（以下「秋田高専」）を選定しました。この度の記者発表会におきましては、高専機構の風力人材育成の現在について、拠点校3校からは、より具体的な洋上風力に関する教育カリキュラム計画や地域連携の取組についてご説明します。

●発表ポイント

1. 再生可能エネルギー風力分野の現状
2. 風力分野をけん引する人材育成のための高専機構の取組
3. 3拠点校の具体的な教育カリキュラム計画・地域連携



<記者発表会概要>

開催日時：2024年11月21日（木）

10：30～11：30（受付開始10：00より）

開催場所：①函館高専 第一会議室 ②八戸高専管理棟3F 大会議室

③秋田高専 会議室A

※3～4ページにアクセス詳細がございます ※オンライン配信あり

■産学連携の重要性

洋上風力発電は、日本にとっては新しい産業分野で、教育・研究機関にはこの分野の人材育成に必要な知見・ノウハウが十分に備わっていないのが現状です。そのため、現場のニーズに合致した人材育成に当たっては、洋上風力発電の様々な分野の実務に関わっている産業界と協同した上で進めていくことが重要と考えます。

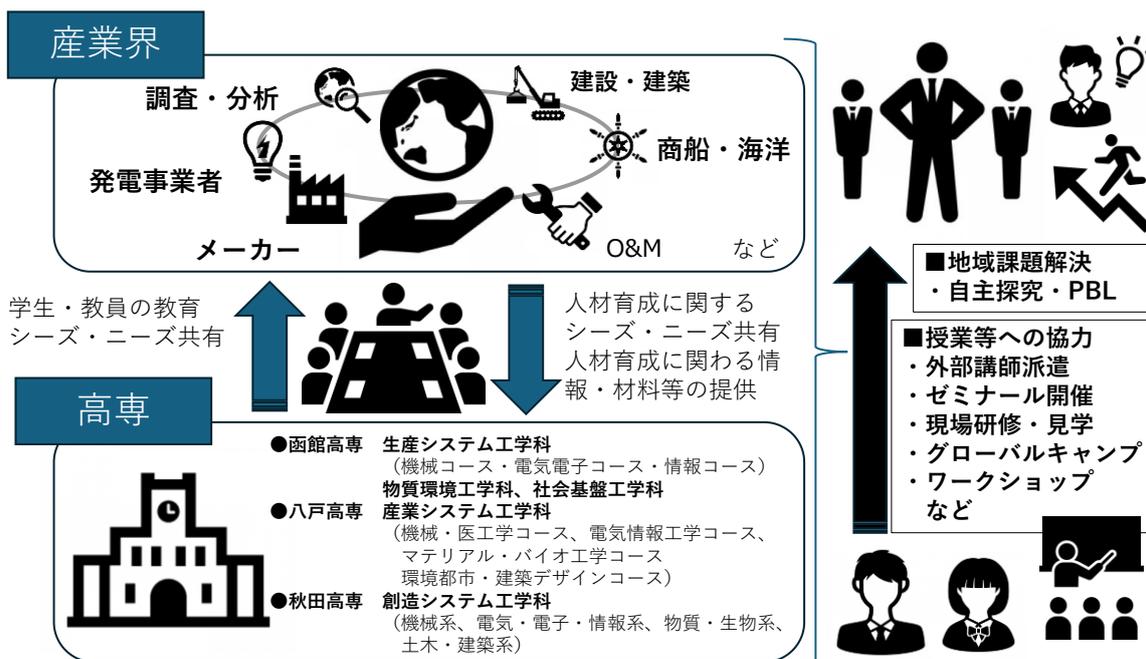
■日本における風力エネルギーの重要度

日本は2050年にカーボンニュートラルを目指すとして宣言しました。しかしながら2024年度における人口1人当たりの二酸化炭素排出量は7.9tと世界で4番目に多く、2021年とくらべると3%増加しているのが現状です。世界的には2021年COP26にて産業革命以前に比べ地球温暖化を1.5℃抑える目標が設定され、温室効果ガスを2030年までに2019年比で43%削減する必要があると試算されています。この目標達成のためにはGXを推進しながら、洋上風力をはじめとする低炭素・ゼロカーボンのエネルギー源への移行がとて重要で、また、各地で立ち上がる洋上風力発電所の建設工事のほか、数十

年にわたり運転を行う発電設備の維持管理などで活躍する人材を国内において育成していくことは、日本における洋上風力産業の充実と、さらには国際競争力強化につなげることになります。

■風力発電関連業界をはじめとしたGXを推進する幅広い分野で将来にわたり自律的に活躍できる多様な人材を育成します！

- ・日本においては洋上風力の運用管理が始まっており秋田県沖、青森県沖日本海、北海道道南沖の複数区域が有望な地域として指定されています。3 拠点校はこの地域に位置し、緊密に連携することで適地選定、合意形成、計画・設計、施工、運用管理といった洋上風力開発の一連のプロセスの現場を通じた実践的な学習を教授でき、産業界全体を支える多様な人材に成長させることができます。
- ・再生可能エネルギーに関して重点的に教育された人材の知識に加え、さらに広い視野を持ち、GX、環境調和、地域社会との連携などを志向しつつ広くエネルギー関連分野を切り拓ける高いポテンシャルを有する人材を育成することを目指します。



■プログラム

1. 高専の概要・洋上風力発電人材育成の現状について

独立行政法人国立高等専門学校機構 理事長 谷口 功

2. 拠点3高専の洋上風力発電教育・地域連携・教育カリキュラムについて

函館工業高等専門学校

・校長 阿部 恵 ・教務主事 柳谷 俊一 ・リーダー 宮武 誠

八戸工業高等専門学校

・校長 土屋 範芳 ・教務主事 馬淵 雅生 ・リーダー 丸岡 晃

秋田工業高等専門学校

・校長 高橋 雅之 ・教務主事 伊藤 桂一 ・リーダー 葛西 誠

3. 質疑応答

■記者発表会のスケジュール

10:00 開場 (各高専記者会見会場、オンライン入室)

10:30 記者発表開始

10:35 理事長 谷口 功 登壇

【テーマ：高専の概要、再生可能エネルギー風力分野の現状について】

10:40 3 高専校長・教務主事・リーダー 登壇

【テーマ：3 高専の教育・各高専の取組について】

10:50 質疑応答

11:30 記者発表会終了予定

※記者会見に関する注意事項

当日は各高専での対面あるいはオンラインでのご参加が可能です。

当日（11/21）は、高専機構理事長 谷口 功より高専概要およびCOMPASS5.0事業のうち再生可能エネルギー（風力）教育の現状について、函館高専 校長 阿部 恵、八戸高専 校長 土屋 範芳、秋田高専 校長 高橋 雅之より、各高専の取組についてお話いたします。多忙中のこととは存じますが、ぜひ参加賜りますようお願い申し上げます。

■独立行政法人国立高等専門学校機構について（URL：<https://www.kosen-k.go.jp/>）

社会が必要とする技術者を養成するため、中学生の卒業生を受け入れ、5年間一貫の技術者教育を行う高等教育機関として、現在、全国に51の国立高等専門学校（高専）を設置しています。

高専のカリキュラムは、実験・実習を重視した専門教育を早期段階から行うことにより、20歳の卒業時には大学と同程度以上の知識・技術を身につけるものとなっています。卒業生は日本の産業や社会の発展を担う中心的な役割を果たし、技術立国としての日本を支えるだけでなく、新たな技術フロンティアを開拓しつづけています。

■函館工業高等専門学校について（URL：<https://www.hakodate-ct.ac.jp/>）

函館高専は、海の街函館で学ぶ「海洋再生可能エネルギーの利用技術」を特色ある取り組みとして、機械・電気・土木分野の技術が結集した洋上風力技術を、所属学科に軸足を置きながら学科を横断して学べる単位履修コースを新たに設置します。加えて、洋上風力に特化した教材の開発と講義、実務者による業界セミナーやWS、現地研修フォーラムを通じて、これまで各分野細切れに対応していた洋上風力技術を総合的に習得した技術者を新たな多角高度化人材として育成し、関連産業界キャリアに結びつけることを狙いとしております。

■八戸工業高等専門学校について（URL：<https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>）

八戸高専は、1学科4コース制（産業システム工学科：機械・医工学コース、電気情報工学コース、マテリアル・バイオ工学コース、環境都市・建築デザインコース）の高等教育機関です。自ら課題を発見し、科学的視点で探究する「自主探究」を教育の柱とし、15歳から課題の発見と解決ができるグローバルエンジニアの育成に注力しています。さらに、再生可能エネルギーを教育カリキュラムに組み込み、自主探究など本校独自の取り組みと連携することで、自然環境と再生可能エネルギーの共生を実現する未来に貢献できるグローバルエンジニアの輩出を目指します。

■秋田工業高等専門学校について（URL：<https://www.akita-nct.ac.jp/>）

秋田高専は、1学科4系（創造システム工学科：機械系、電気・電子・情報系、物質・生物系、土木・建築系）からなる高等教育機関であり、グローバルに活躍できる技術者の養成を目指しています。洋上を含めた多数の風力発電施設が既に県内に立地する地の利を活かし、地域の企業等と緊密に連携しながら、多様な学生と教育スタッフが集う学びの場を創造し、再生可能エネルギーの未来を国内外問わず自律的に切り拓ける人材を育成します。

誠にお手数ですが、ご出席に関しましては11月18日(月)17:00までにFormsまたはメールにてご返信くださいますようお願い申し上げます。

※当記者発表会はオンライン配信もございます。

■開催場所①

函館工業高等専門学校 第一会議室

〒042-0953 北海道函館市戸倉町14-1

【最寄駅】市電（2.5系統 湯の川行き）

「湯の川」下車 徒歩約15分



■開催場所②

八戸工業高等専門学校 管理棟3階 大会議室



〒039-1104 青森県八戸市田面木上野平 16-1
【最寄駅】JR 八戸駅より南部バスにて約 15 分

■開催場所③

秋田工業高等専門学校 会議室 A

〒011-8511 秋田県秋田市飯島文京町 1-1

【最寄駅】JR 土崎駅よりタクシーにて約 10 分、徒歩約 25 分



■ Forms で回答

URL: <https://forms.office.com/r/6f4PCNME7A>



■ メールで回答

(国立高専機構本部 学務課教育企画係 宛送付先 E-mail: kyoiku@kosen-k.go.jp)

以下の内容をご記入の上、上記送付先までご連絡ください。

- ① 貴社名 ② 媒体名部 ③ 部署名 ④ 代表者ご芳名：他名
- ⑤ 撮影の有無：ムービー（ENG / ハンディ） / スチール
- ⑥ TEL 番号 ⑦ FAX 番号 ⑧ 携帯電話番号 ⑨ メールアドレス：
- ⑩ 参加方法：会場（函館高専、八戸高専、秋田高専） / オンライン ⑪ 備考

<個人情報のご記入にあたって>

記入いただきました個人情報は、当機構の情報セキュリティ基本方針、個人情報の取り扱いに則り、適切に取り扱います。また、いただいたご連絡先は当機構の広報メンバーで共有させていただきます。上記Forms、メールでのご回答に関しましては、同意いただけた場合にのみご送信をお願い致します。

Microsoft365 利用に係る個人情報保護方針: https://www.kosen-k.go.jp/privacy_m365/

【本件問合せ先】

独立行政法人国立高等専門学校機構 本部事務局学務課 野口、上原、加藤

TEL:042-662-3154 Mail: kyoiku@kosen-k.go.jp

<https://www.kosen-k.go.jp/>